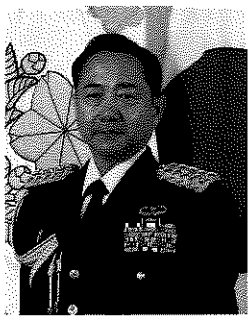


我が国を守り抜く

新たな陸上防衛力の構築に向けて

陸上幕僚長

山崎 幸二



新年おめでとうございます。借行社並びに借行会の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より陸上自衛隊に対する深いご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、より一層不確実性・不透明さを増すとともに、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の脅威が現出し、かつてないほど厳しい状況と認識しております。

このような中、昨年は、統合運用態勢の実効性を向上させるため、3月に陸上総隊、教育訓練研究本部及び水陸機動団の新編、第8師団、第14旅団の機動師・旅団への改編等を行い、「即応機動する陸上防衛力」を具現する新たな体制の骨格を整備しました。本体制の下、我が国の平和と独立、国民の

生命と財産を断固として守るため、日夜厳しい訓練に励むとともに、7月の西日本豪雨及び9月の北海道胆振東部地震を始めとする自然災害に即応性をもって対処し、国民の負託に応えることができました。また、米陸軍及び米海兵隊との共同訓練や防衛交流を通じ日米同盟の強化を図るとともに、ジブチへの派遣海賊対処行動支援隊の派遣、ケニア及びベトナムにおける国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト等を通じ、国際社会の平和と安定に貢献しました。

本年は、これまでの体制改革を着実に進めるとともに、昨年末に策定された新たな「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」に基づき、これまでの陸・海・空の領域に宇宙・サイバー・電磁波の新たな領域を含めた、領域横断作戦を実現する陸上防衛態勢の構築に主体的かつ積極的に取り組む所存です。また、本年は天皇陛下のご退位及び皇太子殿下のご即位、G20大阪サミット、ラグビーワールドカップ等の国家的な行事があり、陸上自衛隊に与えられる任務を着実に遂行したいと思えます。

新年に当たり、我が国防衛の「最後の砦」として、国家、国民の負託に応えるため、改めて、日々の隊務に精励することをお誓いするとともに、皆様にとり本年が幸多い年となることを祈念申し上げます。